

令和2年度赤江まつばら支援学校 学校関係者評価

(職員評価に対して)

評価指標	A	B	C	D	E
I 児童生徒が、生きがいと喜びを感じることでできる教育の充実を図る。					
1 児童生徒が「できた・わかった・うれしい」と実感できる確かな指導に取り組んでいる。	2	2			
2 一人一人の児童生徒の個性やよさを認め、伸ばすよう取り組んでいる。	3	1			
3 小学部の段階からキャリア発達を促し、卒業後の生活を見据えたキャリア教育の充実に取り組んでいる。		2	1		1
II 確かな専門性に基づく根拠のある指導・支援の充実を図る。					
4 児童生徒の教育的ニーズに応じた、これからの社会を「生き抜く力」を育む教育の充実に取り組んでいる。		3	1		
5 新学習指導要領の観点を視野に入れた指導・支援の充実に取り組んでいる。(「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の育成)	1	3			
6 障がいの特性に応じた教科指導による学力の定着及び向上に取り組んでいる。	2	2			
7 障がいの特性に応じた各教科等を合わせた指導等の確かな指導に取り組んでいる。	2	2			
8 すべての児童生徒に対する自立活動の工夫によるQOLの充実に取り組んでいる。		4			
9 教育課題研究の深化や学校訪問実施に伴う指導方法・内容の充実を通じた専門性の向上に取り組んでいる。		3			1
III 安心・安全な教育環境の整備・充実を図る。					
10 緊急時に対応できる体制整備と常在危機を意識した教育実践による危機管理体制の充実に取り組んでいる。	3	1			
11 児童生徒の特性に対応した安心して学べる施設・設備の改善に取り組んでいる。	2	2			
12 高い人権感覚を有した指導・支援の実践と幼児児童生徒の発達の段階に応じた言語環境の整備に取り組んでいる。	1	3			
13 情報発信や理解啓発を通じた保護者や地域から信頼される学校づくりに取り組んでいる。	1	3			
IV 病弱特別支援学校としてのセンター的機能の充実を図る。					
14 県内唯一の病弱特別支援学校の専門性を生かした教育相談及び地域支援の充実が図られている。	4				
15 小・中・高等学校及び関係諸機関との連携による適切な就学指導の推進が図られている。	1	3			
16 独立行政法人国立病院機構宮崎東病院との連携による訪問教育の充実と適切な就学形態の推進が図られている。		3	1		
V 服務規律遵守の徹底と人材育成の取組を推進する。					
17 調和のとれた働きやすい職場環境づくりの推進(良好なコミュニケーションと笑顔あふれる職場づくり)に努めている。		3	1		
18 一人一人の心に響くコンプライアンス研修の実施とセルフチェック、学校チェックの徹底が図られている。	1	3			
19 職場から処分者を出さない、職場内での被害者・加害者にならない「出さない・ならない」取組の実践ができています。	1	3			
20 働き方改革の具体的取組の推進(ノー会議デー、ノー残業デーの定着と時間外勤務縮減)が図られている。		3	1		
21 各学部・各校務分掌部が組織的・機能的に稼働できる校内組織体制の見直しが図られている。		4			
22 同僚性、メンターチームを生かしたOJTの推進と人材活用が図られている。		2	1		1
23 特別支援教育を担うミドルリーダーの育成と女性職員の活躍推進に向けた取組が図られている。		3	1		

■ 評価基準 ■

【A】よく当てはまる 【B】当てはまる 【C】あまり当てはまらない 【D】全く当てはまらない 【E】分からない

